

周辺地域との意見交換会

主催：日野市北川原公園ごみ搬入路の違法性解消に向けた検討会

令和6年7月13日(土)

本日の次第

1. 開会
2. 本日の意見交換会について
3. 検討会委員の紹介
4. 第1回～第7回 検討会の内容について
5. 周辺地域の方からの質疑及び意見交換
6. 本日の意見交換会での議論のまとめ
7. その他
8. 閉会

3-(4) 今後の取り組み

【市民向け説明会資料の抜粋】

② 違法性解消に向けた検討会

【内 容】

研究者や専門家を含めた会議体を設置し、市民参加、住民合意のもとに検討をすすめる。

【方 針】

- ① 早期に違法状態の解消を図ること
- ② 行政に対する信頼を回復する
- ③ 新たな住民同士の意見対立、紛争を招かない

【方 法】

様々な方策を提案、検証し、技術面・財政面など総合的に解決策を導き、住民の合意形成を図る

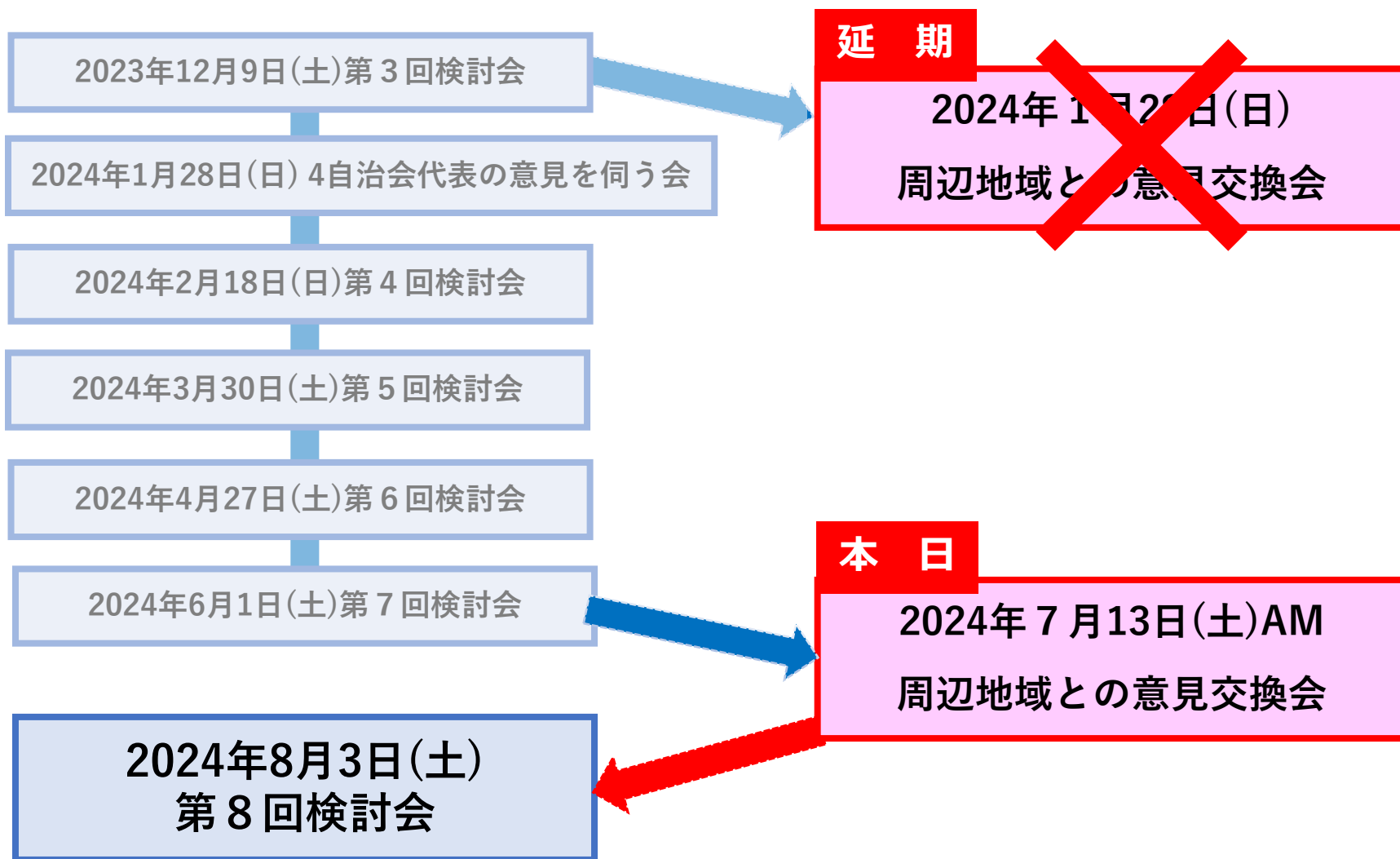
日野市北川原公園ごみ搬入路の違法性解消に向けた検討会 委員名

	氏名	備考
会長	伊藤 雅春	明星大学 建築学部 教授
副会長	中谷 好幸	原告団代表
	浅海 義治	(公財)練馬区 環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター 前所長 東洋大学 非常勤講師
	井上 葉末	公募市民
	江藤 修平	公募市民
	村木 宏行	公募市民
	金子 正	公募市民

日野市北川原公園ごみ搬入路の違法性解消に向けた検討会 委員名

氏名	備考
窪田 之喜	原告団代表
笠間 ゆき子	原告団代表
小平 裕明	日野市 環境共生部長 兼 クリーンセンター長
赤久保 洋司	日野市 企画部長
竹村 朗	日野市 総務部長
岡田 正和	日野市 まちづくり部長

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 10:00 | 1 開会 |
| 10:00 ～ 10:05 (5分) | 2 本日の意見交換会について |
| 10:05 ～ 10:15 (10分) | 3 検討会委員の紹介 |
| 10:15 ～ 10:45 (30分) | 4 本日のプログラムおよび第1回～第7回の
検討会の内容について |
| 10:45 ～ 11:50 (65分) | 5 周辺地域の方からの質疑及び意見交換 |
| 11:50 ～ 11:55 (5分) | 6 本日の意見交換会での議論のまとめ |
| 11:55 ～ 12:00 (5分) | 7 その他 |
| 12:00 | 8 閉会 |



本日の意見交換会での内容を踏まえ、第8回検討会では市長に報告する解消策案の最終選定や市長報告後の市民の皆様との合意形成の方法等を議論していく予定としています。

解消策の評価について

検討会や振り返りの内容も踏まえ評価を実施

① 地元に新たな紛争を招かないか

- ・新規構造物を施工する場合、その影響についてご理解がいただけるか

② 豊かな環境づくりに資するか

- ・豊かな環境づくりに資するか
- ・誰でも遊べて憩える公園づくりを妨げないか
- ・災害時の対応を見据えた環境づくりか
- ・ごみ収集車の通行により、周辺環境がより悪化しないか

③ 将来を見据えた合理的なものか

- ・30年後の施設移転を考慮した合理的なものか
- ・財政的に過度な負担かどうか

周辺4自治会代表の
ご意見

防災面

交通面

費用面

検討会設置要領（抜粋）

第1条 北川原公園ごみ搬入路の違法状態の解消に向けて、**北川原公園が都市決定された歴史的経緯から、同公園の早期実現と公園外へのごみ搬入路の設置、自然豊かな周辺環境の実現が求められていることを踏まえ**、技術的、財政的な問題も含めてあらゆる方策を検討し、最適な解決策を導くため、「日野市北川原公園ごみ搬入路の違法状態解消に向けた検討会」（以下、「検討会」という）を設置する。

検討会での解消策案の選定

※浅川ルート、多摩川ルートは、過去の経緯等を踏まえ、案からは除外



整備費用が膨大
により除外

東電鉄塔により
整備不可能

現状以上に
日野バイパスが
混雑する可能性あり

片側パッカー車
エレベーター案

スロープ案

覆蓋化案

アンダーパス案



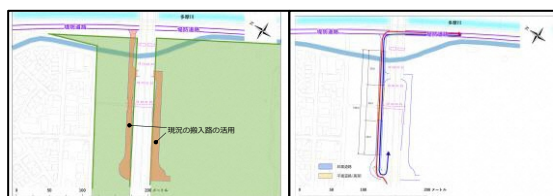
周辺4自治会
からの要望

どの案も都市計画変
更が必須のため、
同じ条件の案を追加

将来的なルート
統合を見据えた
台数を検討

東電鉄塔により
整備不可能

既存搬入路残置案 オーバーパス案



片側パッカー車
エレベーター案

スロープ案

覆蓋化案

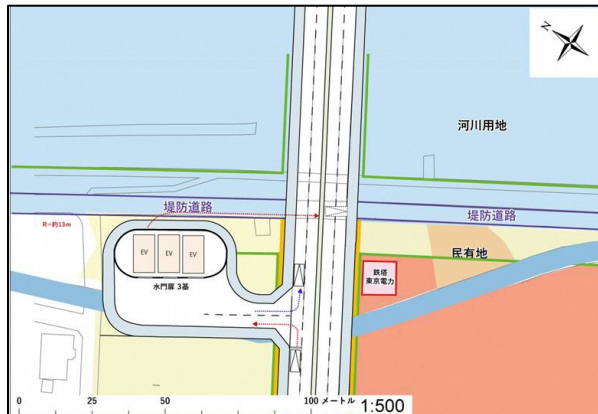
アンダーパス案



検討会での解消策案の選定

● 解消策から除外した理由

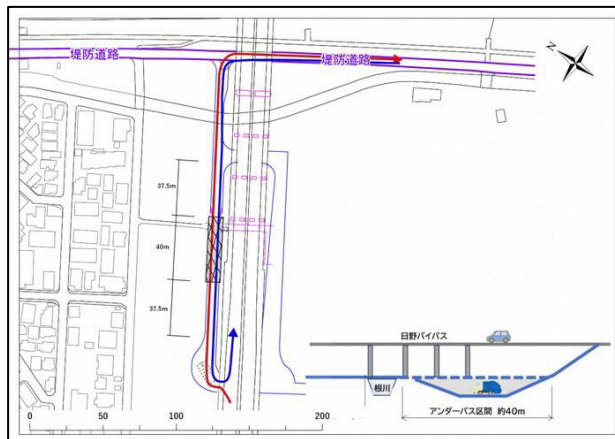
■ シンボルタワー+エレベーター案



<理由>

- ・ 将来的な搬入ルートとの統合を見据えると、エレベーターが3機必要
- ・ 浸水想定区域に機械設備を入れるのは良くない
- ・ 点検や耐用年数での交換など必要経費が膨大になる

■ アンダーパス案



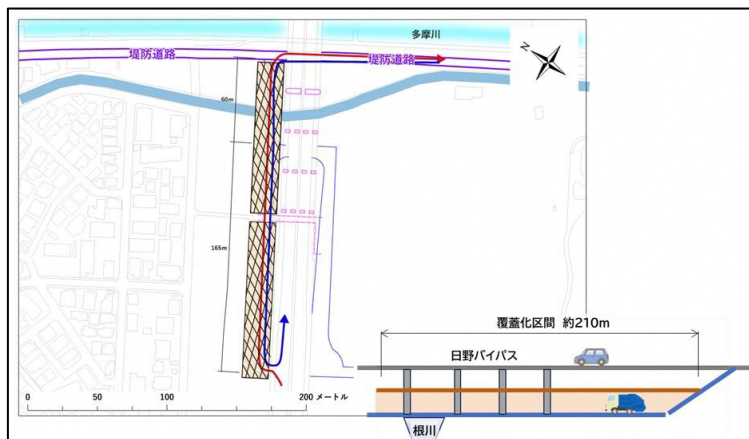
<理由>

- ・ 氾濫時の貯水機能の役割は限定的
- ・ アンダーパス区間のほとんどが、南側の広場と往来できない部分であり効果も限定的
- ・ 地下化以外の部分は、高低差があり公園内の設置は危険であり、上部からごみなどの投げ込み等がされてしまう可能性もある
- ・ 河川付近で地下水位が高いため施工が難しい
工事費も増額の可能性有

検討会での解消策案の選定

● 解消策から除外した理由

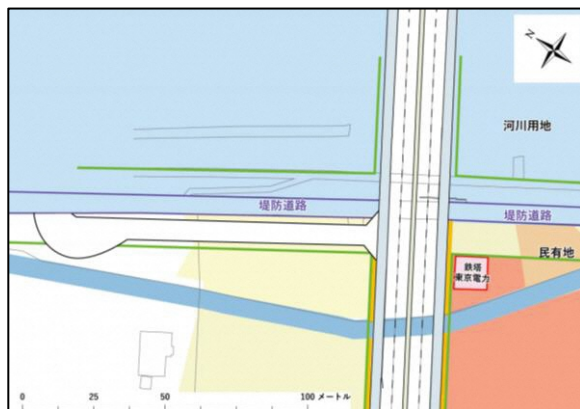
■ 覆蓋化案



<理由>

- ・ 覆蓋部が5 mの高さがあるため、圧迫感がある
- ・ 上部を緑化できる等のメリットもあるが、公園側になだらかな坂にして遊べる場を造る等も高低差があるため厳しい。インクルーシブな公園とは言い難い
- ・ 横断歩道部分だけ覆蓋の隙間を空けるだけでは、公園が良くなっているとは言えない

■ スロープ案



<理由>

- ・ 通行が不可になる道路が発生する
- ・ 住宅に近接した場所で、ゴミ収集車が往復すると振動など様々な影響を受ける(下田地区)

検討会での解消策案の選定

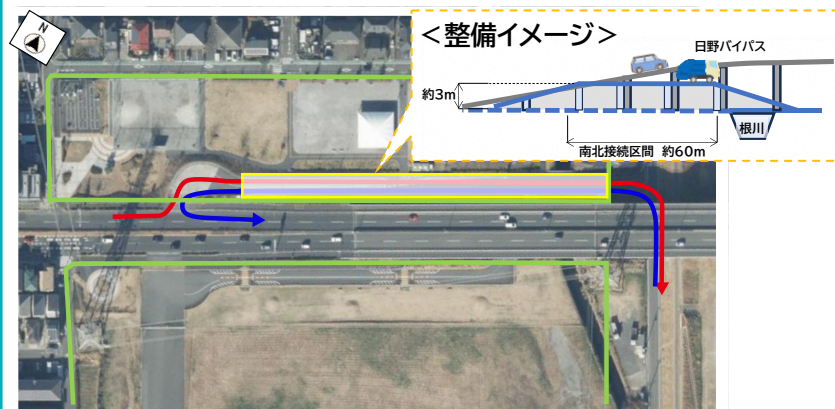
●検討会として周辺地域の皆様に提示する解消策案

実現可能性が高いと思われる2案を検討会から提案させていただきたい

① 搬入路の北側への集約立体化案

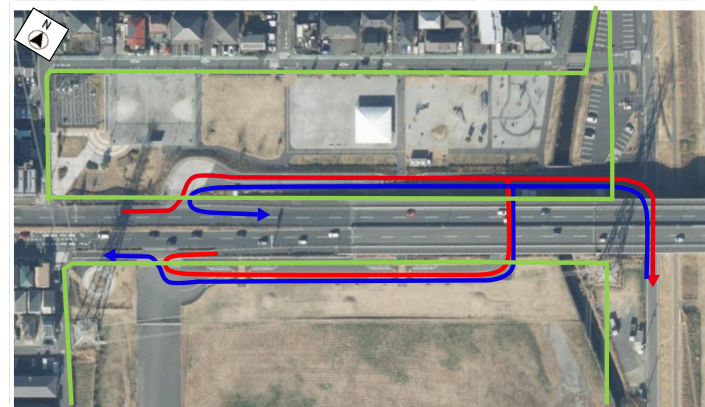
20号バイパス北側ごみ搬入路に南側搬入路も集約し、道路を立体化して下部を公園として活用する案

(※北側の搬入路部分の都市計画変更が必要)



② 現状の南北搬入路の残置活用案

現状の搬入路をそのまま活用する案
(※南北両側の搬入路部分の都市計画変更が必要)

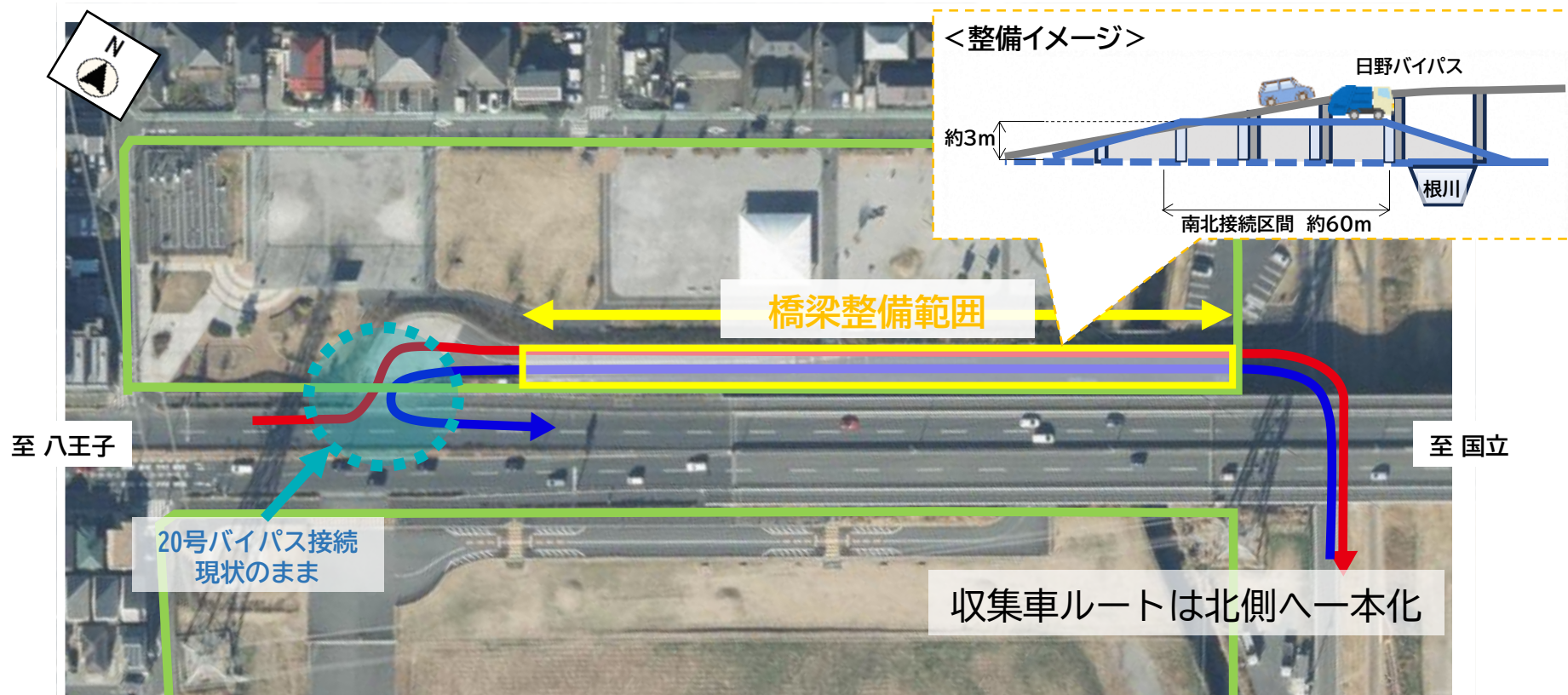


北川原公園および多摩川・浅川沿い周辺の環境改善策

北川原公園が都市決定された歴史的経緯から、北川原公園と多摩川・浅川沿いの自然環境を活かした水と緑の一体的な環境整備について構想を検討中

① 搬入路の北側への集約立体化案

● 整備範囲、必要経費及び収集ルートについて



■必要経費

新規築造：約6億円

維持管理：約100万円/回(橋梁点検等)

※5年に1回程度実施想定

約1,600万円/年(交通誘導員)

※2箇所(交代要員含めて3名)配置想定

約5,000万円/回(舗装補修等)

※10年に1回程度実施想定



■総費用 約10.6億円 (※20年間想定)

整備費用：約6億円

維持管理：約4.6億円

- ・橋梁点検
- ・交通誘導員等
- ・舗装補修等

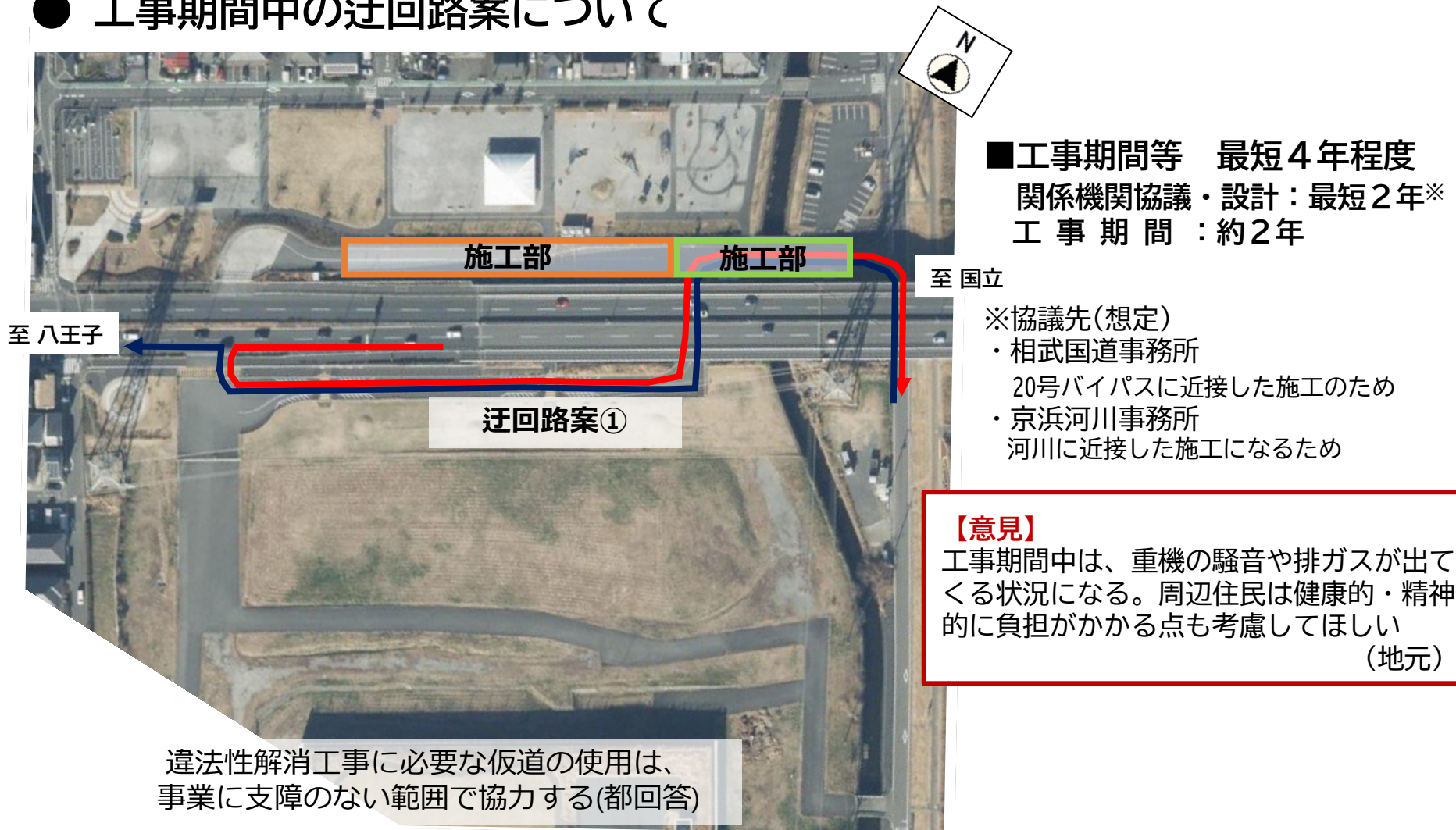
約400万円(100万円×4回)

約3.2億円(1,600万円×20年)

約1億円(5,000万円×2回)

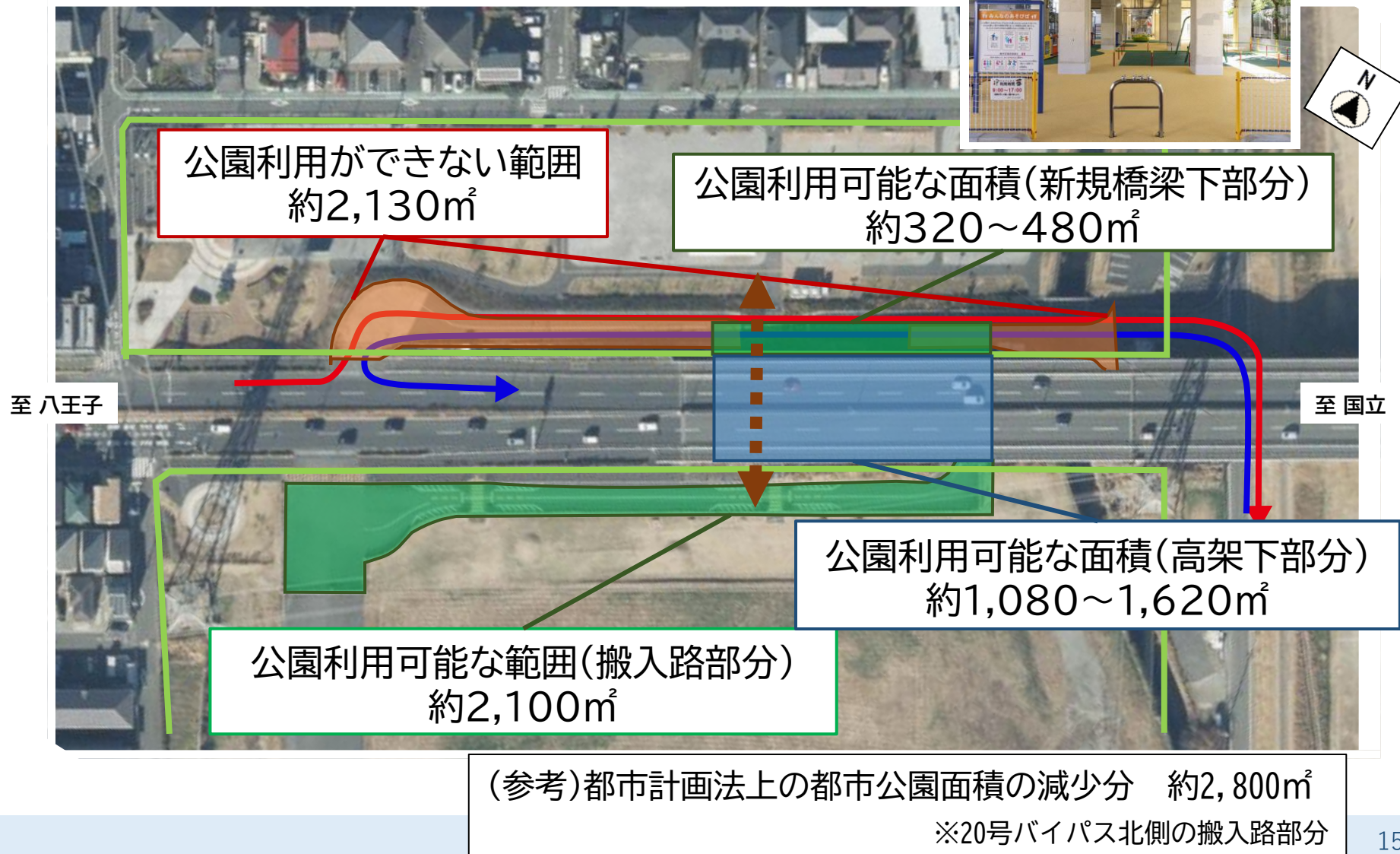
① 搬入路の北側への集約立体化案

● 工事期間中の迂回路案について



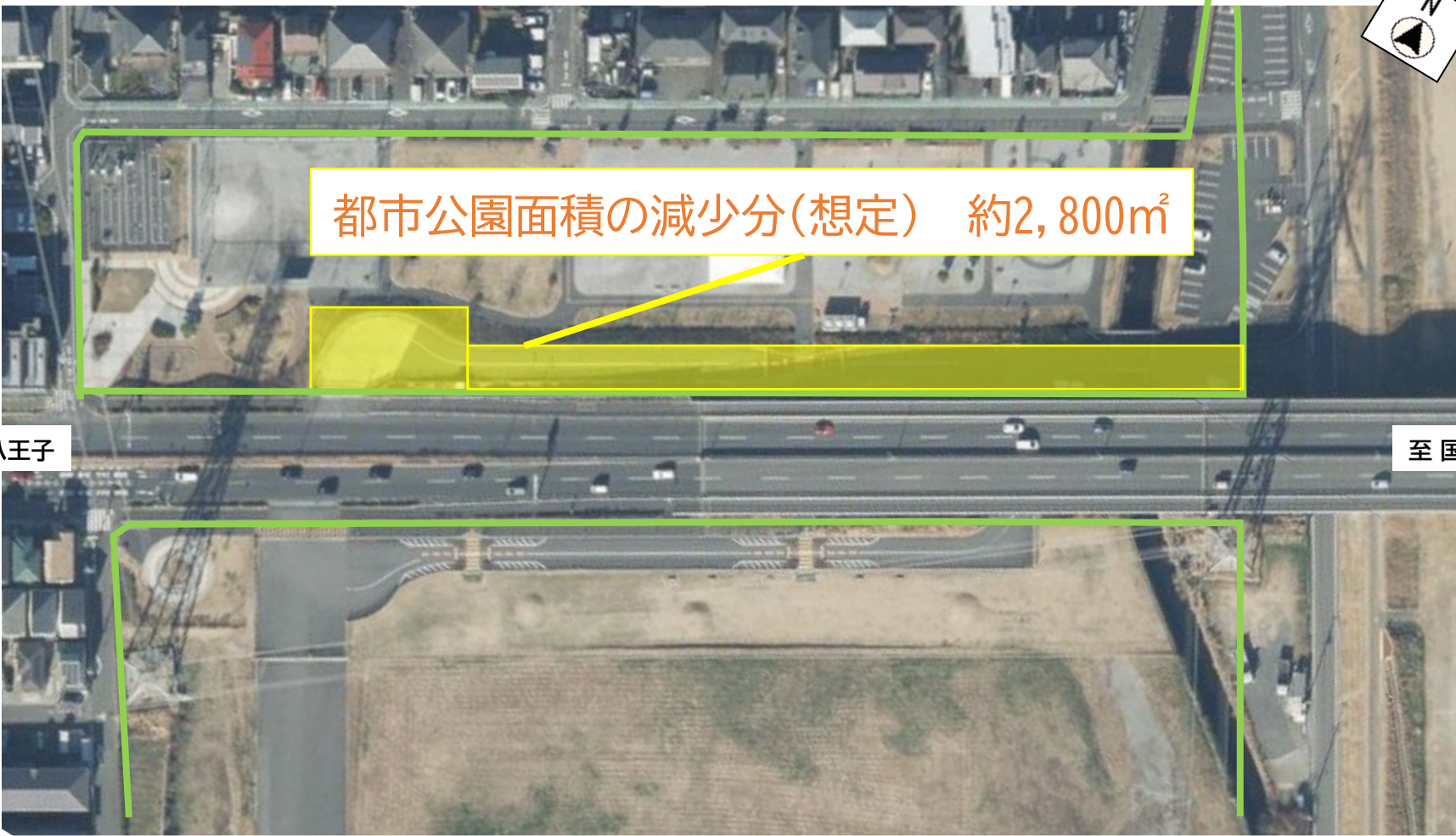
① 搬入路の北側への集約立体化案

● 公園として利活用が可能な面積



① 搬入路の北側への集約立体化案

(参考) 都市計画法上の都市公園面積について



都市公園面積の減少分(想定) 約2,800㎡

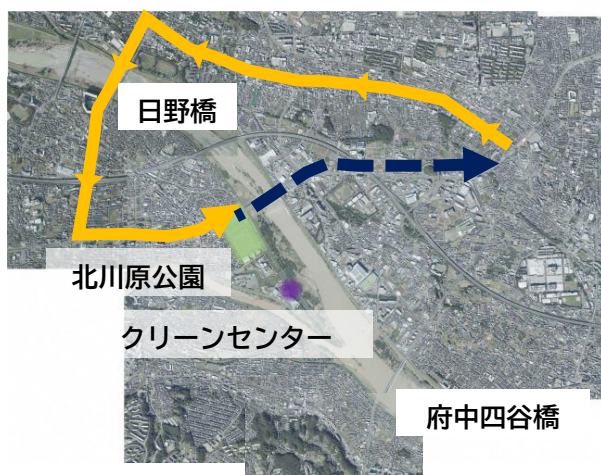
至 八王子

至 国立

① 搬入路の北側への集約立体化案

● 搬入ルートについて

北側に集約する場合は、小金井市・国分寺市の収集車ルートの変更が必要
→ 具体的に通行するルートは現在複数案検討中



【要望】（過去）

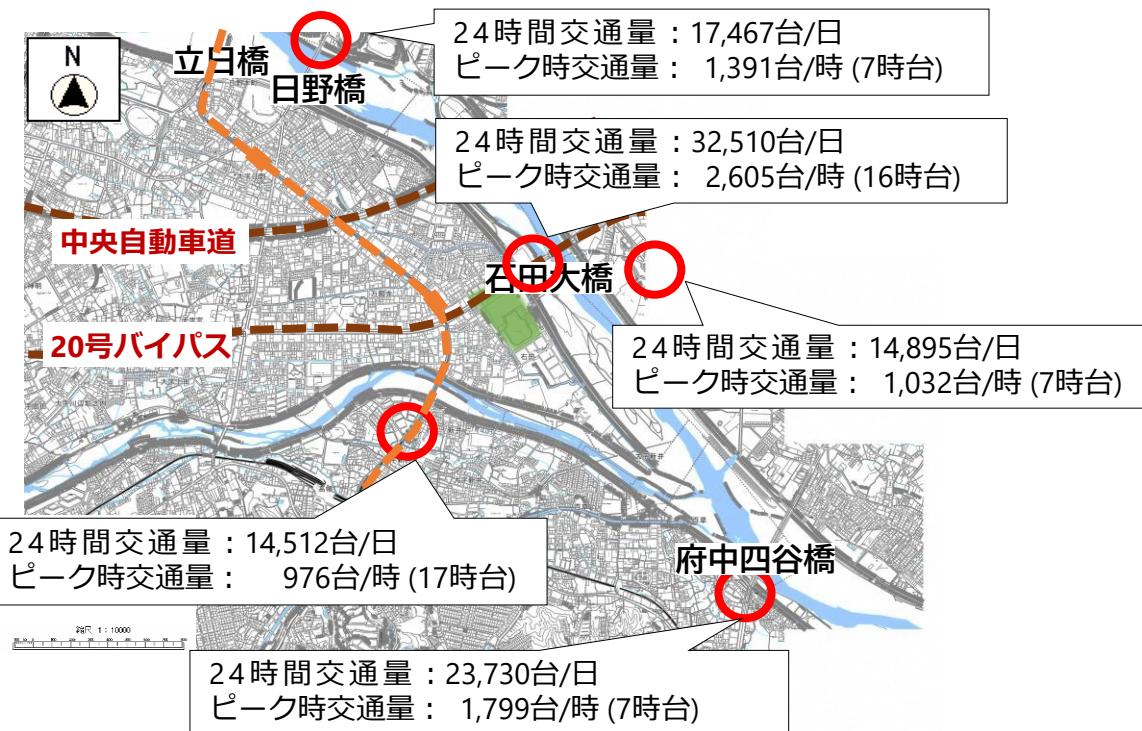
万願寺交差点を右折するルートは混雑するので避けてほしい
（地元）

【意見】

収集車の量を考慮すると、実際に北側にすべてまとめてしまって捌けるかどうか気になる（村木委員）



ごみ収集車の搬入台数と周辺交通への影響



収集車搬入出台数(延べ台数平均・3市合計)

	月	火	水	木	金
8時台	20	16	18	18	18
9時台	56	48	4	56	50
10時台	66	54	14	44	44
11時台	84	92	14	70	84
12時台	4	2	0	8	8
13時台	34	22	8	36	24
14時台	90	94	16	86	88
15時台	76	70	12	60	70
16時台	6	12	4	2	8
合計	436	410	90	380	394

周辺の幹線道路に対する収集車の交通量の割合は低い

周辺交通とピーク時間はずれている

ごみ収集車の走行における、数値的影響は出てこない

浅川ルートへの搬入を多摩川ルート(現在のルート)へ統合した際の影響

現在の浅川ルート収集車搬入出台数
(日野市プラごみ不燃ごみ等)
(延べ台数 R6.3.25～3.29)

	月	火	水	木	金
8時台	10	2	4	6	8
9時台	24	18	76	22	14
10時台	24	28	44	34	36
11時台	32	24	84	48	14
12時台	0	0	0	0	0
13時台	32	26	46	30	40
14時台	42	22	82	40	28
15時台	16	26	68	36	36
16時台	20	4	8	14	12
合計	200	150	412	230	188

収集車両を全て
多摩川ルートへ統合



多摩川ルートへ全て統合した際の
収集車搬入出台数想定(延べ台数)

	月	火	水	木	金
8時台	30	18	22	24	26
9時台	80	66	80	78	64
10時台	90	82	58	78	80
11時台	116	116	98	118	98
12時台	4	2	0	8	8
13時台	66	48	54	66	64
14時台	132	116	98	126	116
15時台	92	96	80	96	106
16時台	26	16	12	16	20
合計	636	560	502	610	582

周辺交通とピーク時間は **ずれている**

【通行車両内訳】

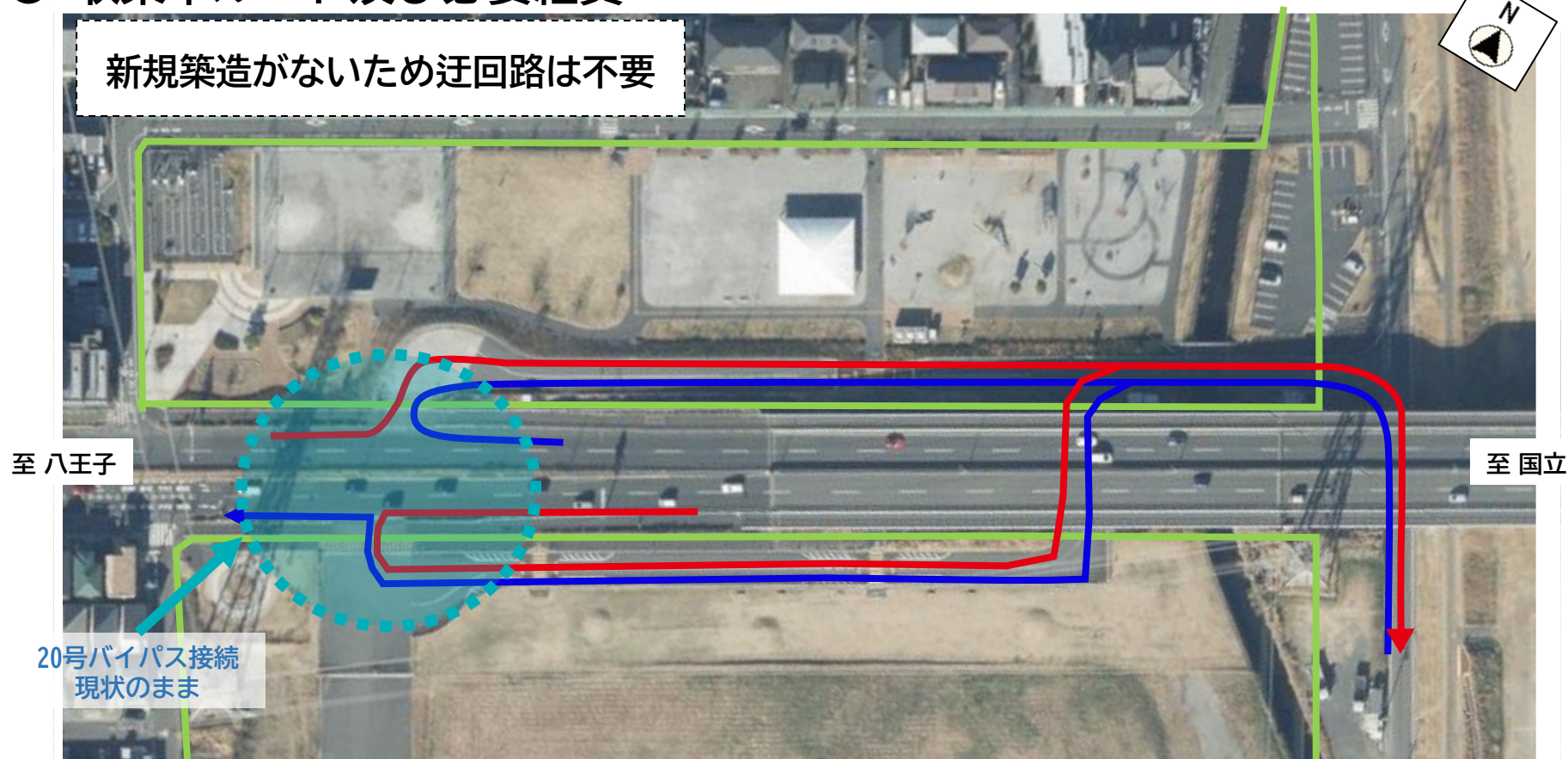
- ・収集委託 (プラごみ・不燃ごみ・びん・ペットボトル・小型家電)
- ・搬出車両・一般持込車両・市役所関係車両等

現在、浅川ルートを利用しているすべての収集車(日野市の不燃ごみ、資源ごみ)を多摩川ルート(現在のルート)に統合しても、幹線道路の交通容量に対しての割合は低く、数値的影響は出てこない

② 現状の南北搬入路の残置活用案

● 収集車ルート及び必要経費

新規築造がないため迂回路は不要



■ 必要経費

新規築造：なし

維持管理：約4,300万円/年(交通誘導員)

※6箇所想定(交代要員含めて8名)配置想定
約9,000万円/回(舗装補修等)

※10年に1回程度実施想定

■ 総費用 約10.4億円 (※20年間想定)

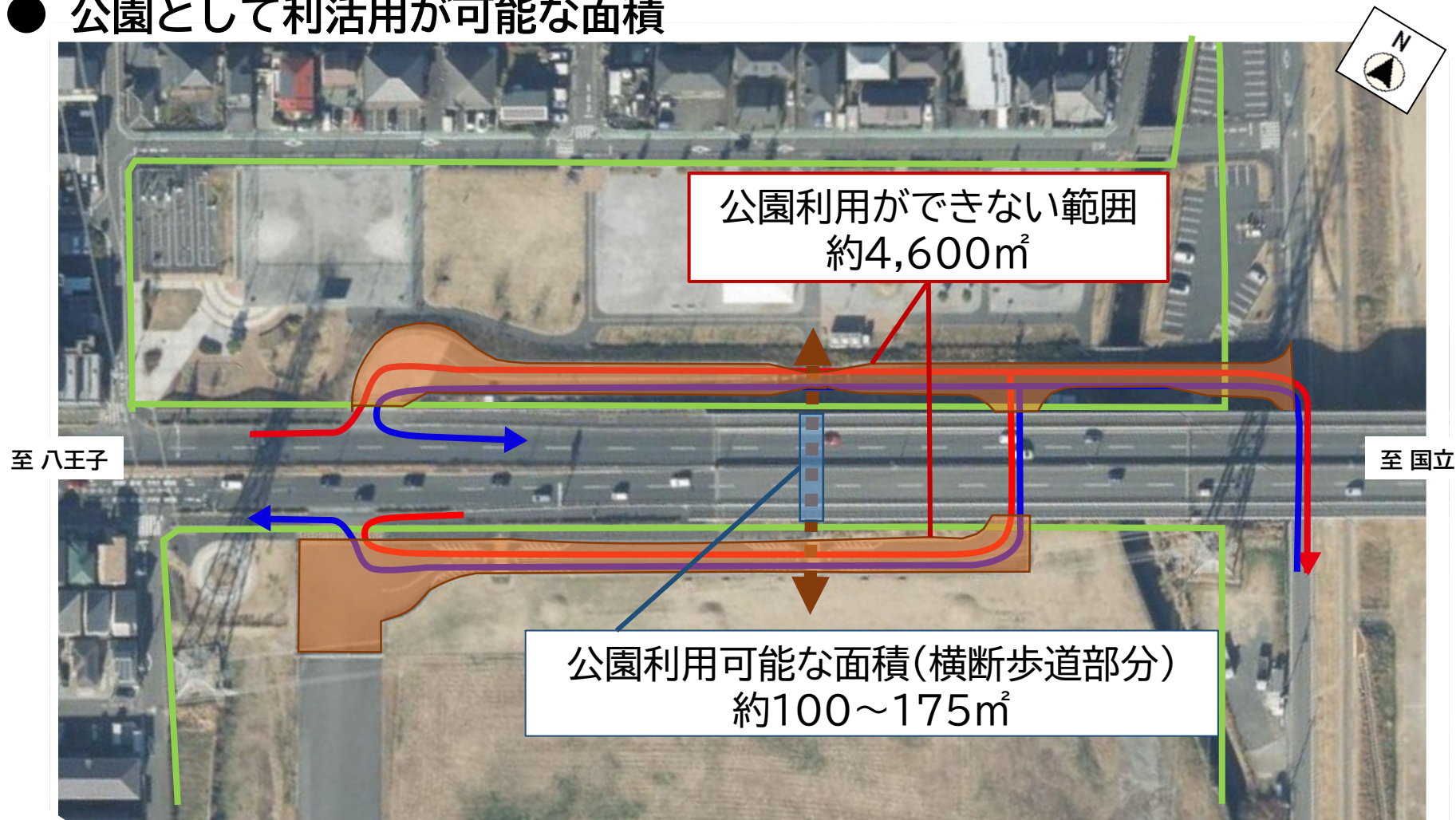
整備費用：なし

維持管理：約10.4億円

・ 交通誘導員等	約8.6億円(4,300万円×20年)
・ 舗装補修等	約1.8億円(9,000万円×2回)

② 現状の南北搬入路の残置活用案

● 公園として利活用が可能な面積



(参考)都市計画法上の都市公園面積の減少分 約5,600m²

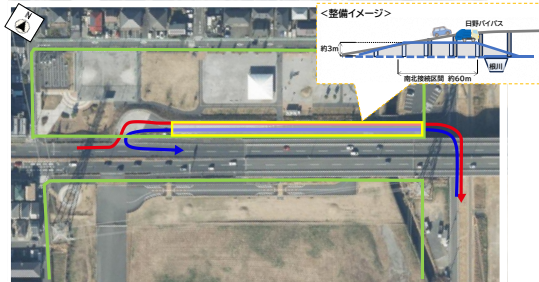
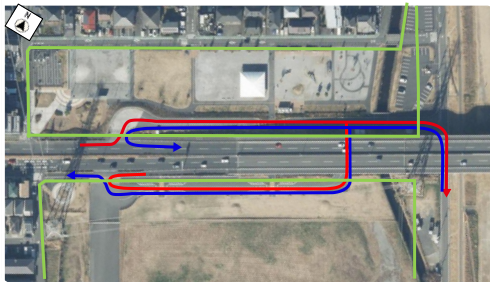
※南北の全搬入路部分

② 現状の南北搬入路の残置活用案

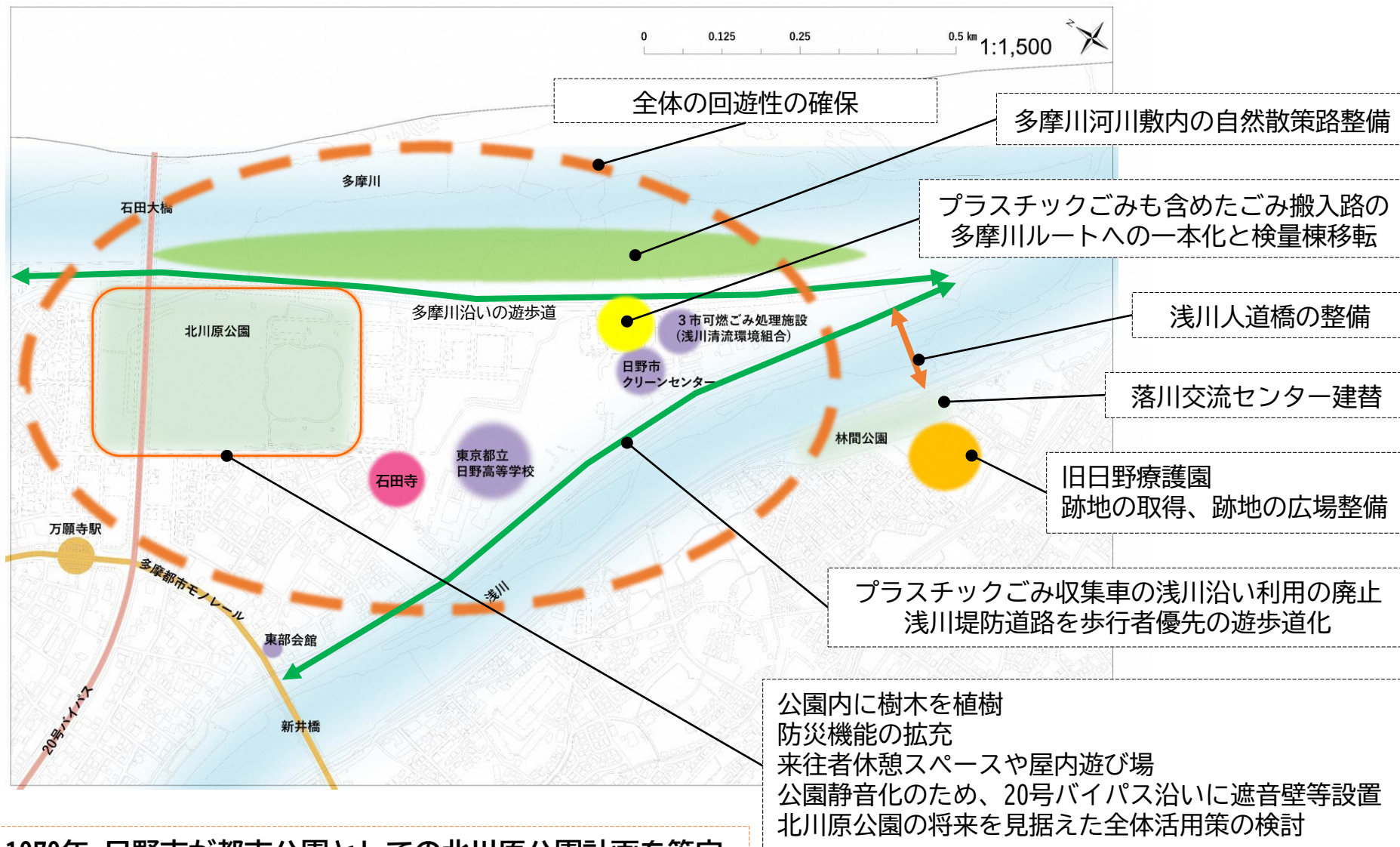
(参考) 都市計画法上の都市公園面積について



2つの解消策(案)について

	①搬入路の北側への集約立体化案		②現状の南北搬入路の残置活用案	
略図				
特徴	・公園利用可能な面積が増加する ・車両と歩行者動線の分離ができ、安全性が増す ・交通誘導員の設置箇所の減少が可能 ・日野市の所有地のみで解消策の実施が可能 ・小金井市、国分寺市の収集車のルート変更が必要		・新規の施設整備が不要で、収集車のルート変更も不要 ・公園利用可能な面積が減少し、南北の自由な公園利用の制約が発生 ※公園と広場を分断するごみ搬入路が存在し続けるマイナス面もあります	
総費用 (※20年間想定)	約10.6億円	整備費用 約6億円	約10.4億円	整備費用 なし
		必要経費 約4.6億円 橋梁点検 約400万円 舗装補修等 約1億円 交通誘導員等 約3.2億円		必要経費 約10.4億円 舗装補修等 約1.8億円 交通誘導員等 約8.6億円
公園利用可否 面積	公園利用可 約3,850㎡	新規橋梁下部 約 320～480㎡ 高架化部分 約1,080～1,620㎡ 南側搬入路部 約2,100㎡	公園利用可 約140㎡	横断歩道部 約100～175㎡
	公園利用不可 約2,130㎡		公園利用不可 約4,600㎡	
都市公園面積 減少分 (都市計画法上)	約2,800㎡		約5,600㎡	
工事時の 影響	迂回路が必要(南側部分の搬入路の活用可) 施工時は排ガス・騒音が出る		なし	
その他	南北の自由通行が可能		交通誘導員の誘導による南北の通行になる	

クリーンセンター周辺の環境改善に関するアイデア



1979年 日野市が都市公園としての北川原公園計画を策定

ここからは、周辺地域の方からのご質問や検討会委員と意見交換を行う時間になります。

ご発言される際は、職員がマイクをお渡ししますので、マイクの使用にご協力お願いいたします。